

第375号
平成29年

8月10日

すまいるたうん



発行元
東京新聞
南千住専売店
TEL3803-1781
発行責任者
鬼塚 佳代子
TEL090-2657-0300

音と一緒に動いて、五感での体験を

アラファミーユ

ファミリーコンサート

「赤ちゃんやお子さんが寝転んでも大丈夫なスペースを用意してあります」

アラファミーユコンサートは0歳〜8歳の子どもを主体としたファミリーコンサートです。

子どもの感性は六歳までに八割以上成長するという説もあり、幼児期の子どもには感覚に働きかける本物に触れる実体験が大切です。しかし、未就学児の入場できるコンサートはなかなか無くこの大切な時期に感性を伸ばす生演奏に触れる機会は少ないのが現状です。

「伝える。伝わる。音楽の楽しさ」

アラファミーユとはフランス語で家族的などという意味です。これは音楽療法を取り入れてピアノ、カホン（ペルー発祥の打楽器）を使って創り出すゆるい空間のあるコンサートです。

音楽療法は、音楽の知識に加え、心理学、病理学、解剖学、学校教育など知識を備えた音楽療法士が行います。音楽療法には大きく分けて楽器を鳴らす、歌う、リズムに乗って踊るなど自

発的に行う能動的音楽療法と音楽を聴かせて心を落ち着かせる、リラクゼーションといった受動的音楽療法があります。アラファミーユコンサートは音楽療法士の松熊貴代さんがこれらを織り交ぜて子どもを対象としたプログラムを作成しています。

音楽療法は音楽を学ぶことを目的としているわけではなく、音楽をきっかけにソーシャルスキル（コミュニケーション・社会性など）を習得できるように促したり、心身の発達を援助します。

アメリカでは三歳以上の子どもには音楽療法を受ける権利が確立されている程度効果が認められています。日本ではまだ認知度は低いのですが、子供や高齢者、障がいのある方など様々な方に利用されて効果が出ています。

「本物に触れて育つ感性」

六名の演者が歌や楽器で家族のに音楽の楽しさを伝えてくれます。子どもは打楽器カホンやピアノの振動、音、リズムを身体に感じ、演者の表情や仕草を視覚で感じる事ができます。家族と歌ったり、踊ったりして一緒に楽しむことが子どもの感性を育てるのに何より大きな効果をもたらします。

音に驚き、びっくりしてキョトンとするか、身体を動かし始めるか、子どもの

変化も見られることは大人にとっても楽しい体験です。楽しんでいるお母さんやお父さんの反応に子どもも反応します。「音楽は人生の薄暗い夜を照らす月の光である。」

忙しい日々にはひと時、子どもと共にゆったりと生の音を楽しみませんか。子どもから大人へ、笑顔の連鎖のひと時を！

【プログラム】

・ Far away (リベラ) ・ パートオブユアワールド (リトルマーメイド) ・ 秋の童謡メロデー等・ 曲当てクイズ演奏・ リズム体操

alla famille アラファミーユ

たのしいファミリーコンサート

日時：2017年9月10日（日）

開演時間(1)13時～ (45分)

(2)15時～ (45分)

場所：日暮里サニーホール

(ホテルラングウッド4F5F)

料金 大人500円 子ども1,000円

申込み ☎&FAX：03 (3807) 9314

mail：famicontm2016@gmail.com

